



3月6日（金）にぎわい交流館AU（秋田市）において組合員約300名が参加し、連合秋田2026春季生活闘争ファイティングフォーラムを開催した。集会では「情勢報告」、「構成組織代表からの決意表明」の後、二つの「集会アピール」が採択され、最後に団結ガンバローで春季生活闘争の勝利を誓った。また、同日県内6ヶ所でも集会が開催され、全県で約600名が参加した。



## 主催者あいさつ 連合秋田 会長 小川 純

いよいよ、2026春季生活闘争がはじまった。これまで、加盟組合では賃上げ率が2年連続の5%台を実現した。私たちの運動が、社会を巻き込み、停滞していた賃金を動かし、日本経済のステージを転換させてきた。一方で、働く仲間のくらしは、依

然として厳しい状況にある。中小企業や未組織職場へ賃上げを確実に波及させるためには、適正な価格転嫁と公正取引を徹底させ、付加価値の適正分配の実現が必要である。

2026春季生活闘争では「こだわろう！ 暮らしの向上！ ひろげよう！ 仲間の輪」をスローガンに多くの組合で要求書の提出が行われている。職場から地域へ、仲間の輪を広げながら、すべての働く者の賃上げと安心して働ける社会の実現に向けて、ともに力を合わせて前進していこう！

# !! こだわろう! 暮らしの向上 ひろげよう! 仲間の輪



## 2026 春季生活闘争情勢報告と決意表明!

連合秋田の曾我事務局長からの「2026 春季生活闘争情勢報告」後、電力総連・高橋副会長、JP労組・越後書記次長より今次闘争に臨んでの状況報告と力強い決意表明をいただいた。



連合秋田  
曾我 章生 事務局長



秋田県東北電力総連  
高橋 祥平 副会長



日本郵政グループ労組秋田地方支部  
越後 忠博 書記次長

## 集会アピール採択とガンバロー三唱!

「3. 8 国際女性デー・アピール」と『賃上げは、地域の未来への投資である』とする「集会アピール」を満場の拍手で採択した。最後に、中央地域協議会の田口議長のガンバロー三唱で集会を閉会した。



連合秋田女性委員会  
澤田 美里 幹事



中央地域協議会  
佐々木 勝彦 議長代行



中央地域協議会  
田口 司 議長

## 地場中小組合の第1のヤマ場を設定!

# 3月20日～3月31日

## 3月内妥結に向けて、共闘体制の強化を!

